

近畿地方整備局 足羽川ダム工事事務所
資料配布

配布日時	平成29年3月8日
------	-----------

件名	第4回足羽川ダム環境モニタリング委員会の結果概要について
----	------------------------------

概要	<p>平成26年3月に足羽川ダム建設事業における環境調査及び環境保全措置の実施について、専門家の意見を伺うことを目的として、「足羽川ダム環境モニタリング委員会」を設立し、平成29年3月8日に第4回足羽川ダム環境モニタリング委員会を開催しました。</p> <p>委員会の結果概要は、別紙のとおりです。</p>
----	---

取扱い	_____
-----	-------

配布場所	福井県政記者クラブ
------	-----------

問合せ先	<p>国土交通省 近畿地方整備局 足羽川ダム工事事務所</p> <p>副所長 <small>こばやし まさひろ</small> 小林 正治</p> <p>調査設計課長 <small>ひとみ たけし</small> 人見 剛</p> <p>TEL 0776 - 27 - 0642 (代表) (内線 204・351)</p>
------	---

第4回 足羽川ダム環境モニタリング委員会

【委員会の主旨及びこれまでの経緯】

足羽川ダム建設事業における環境調査及び環境保全措置について、専門家の意見を伺うことを目的に「足羽川ダム環境モニタリング委員会」を設立しました。

これまでに3回のモニタリング委員会を開催し、足羽川ダム環境モニタリング計画や環境保全措置の計画についてご意見をいただきました。

【第4回環境モニタリング委員会 開催概要】

平成29年3月8日に足羽川ダム工事事務所において開催されました。委員会では、平成28年モニタリング調査結果と環境保全措置の内容及び平成29年モニタリング調査計画（案）についてご意見をいただき、今後の調査及び環境保全措置の実施方針が確認されました。

委員会開催状況



福原委員長 挨拶



委員会開催状況

委員名簿（敬称略、五十音、◎委員長）

氏名	担当分野	現職等
おくむら みつし 奥村 充司	水環境	福井工業高等専門学校 環境都市工学科 准教授
くぼかみ そうじろう 久保上 宗次郎	鳥類 生態系	猛禽類研究家
なかむら きちよ 中村 幸世	植物	福井市自然博物館 学芸員
◎ ふくはら てるゆき 福原 輝幸	水環境	広島工業大学 工学部 環境土木工学科 教授
まつた たかき 松田 隆喜	魚類	福井農林高等学校 教諭

松田委員は、欠席。

第4回 足羽川ダム環境モニタリング委員会

I. 事務局からの報告

事務局より以下の事項を報告しました。

- ・平成28年モニタリング調査結果と環境保全措置について
- ・平成29年モニタリング調査計画(案)について

II. 委員会での意見

事務局からの報告に対する委員からの意見及び事務局回答は以下のとおりです。

委員からの意見	事務局回答
ヤマシャクヤクやミヤマタゴボウなどは、移植時期が平成30年以降となっているが、早めの移植及びモニタリングの実施を検討すること。	工事計画を確認し、平成29年の移植について検討します。
平成28年2月14日の濁水の観測は、融雪出水の影響と考えられる。大雨のみならず、融雪出水時のモニタリングも実施すること。	融雪出水時の濁水モニタリングも適切に実施します。
水海川導水トンネル周辺にもクマタカのペアが存在するため、今後、呑口側の工事着手までに調査準備を進めておくこと。	調査内容などについて検討します。
洪水調節地内の生物が有効に利用することを考え、水辺の多様性を創出すること。	自然の水場を出来るだけ保全できるよう検討します。
アジメドジョウの保全にかかる調査について、高濃度濁水がSS1,000mg/L以上とならない場合においても台風の本邦上陸など大規模な流量が想定される場合は調査を行うよう検討すること。	調査の期間・時期について適切に実施します。

III. 今後の予定

- ・平成29年モニタリング調査計画に基づきモニタリング調査を実施していきます。
- ・環境調査の結果により懸念がある場合は、委員会開催に限らず、適宜、委員よりご指導・ご助言を頂き、必要に応じて、速やかな対応を行います。
- ・委員会は年1回とし、次回は12月から翌年3月頃の間を予定しています。